

5月役員会例会報告
5月12日(木) 今出川YMCA
副会長 中原 一晃



「これを入れて後2回です」の立山会長の挨拶から始まった、オープン役員例会。プレッシャーかけんといて～な。

まず報告事項から環境家計簿の状況にIBCの報告、すぐに控えた大文字ハイキング、連絡のダブった引継例会の日程、これは18日です。お間違いの無いように。今年西日本区大会の出席予定が少ない報告。協議事項からゲートボール大会のサポートと今月の例会(部長公式訪問)と25周年記念誌の進捗状況。最後に時間を少し取って頂いた、会費問題。

例会を2回にすることから発生する予算の圧迫を解消するため、月¥1000の値上げ説明。同時に会費そのものの振り分けと受益者負担にした時の会費の状況。疑問を投げかけ、多くのご意見を頂きました。久しぶりにいろいろな違った意見を聞くことができ、次期の三役・役員会のあり方を再認識できる内容でした。議案としては、5月環境EMC例会の登録費補助に、残念ですが坪内ワイズの退会と西日本区大会登録費補助。これは立山期最後の大判振る舞い?次期に残しといて～な～と心の中で叫びながら、補助を受けるありがたさも感じ複雑な心境。BFファンドの振り分け説明と次期地域奉仕委員長に大西ワイズに変更をご承認頂きました。

出席者:メン17名

5月 役員会報告		
議案1	5月環境EMC例会登録費 メット3,000円・コメット3,000円(中学生以上)・ゲスト5,000円とする。	承認
議案2	坪内ワイズ4月末日をもって退会承認の件	承認
議案3	西日本区登録費補助の件 5,000円/人(メットも含む)	承認
議案4	BFファンド2,600円/人を今期は みかんファンド及びネットファンドから拠出	承認
議案5	次期地域奉仕委員長を高山ワイズから 大西ワイズに変更	承認

第8回遊ば会「大文字山ハイキング」とバーベキュー大会」
5月14日(土) 大文字山&やましの家
ドライバー委員長 牧野万里子

5月14日(土)恒例の遊ば会も8回目を迎えました。飲み会の多い遊ば会も、今回は趣向を変えて、ハイキングです。朝9時、銀閣寺交番前に集合した一行は、やる気満々といった感じです。

本当に雲ひとつない青空、いよいよ大文字山を目指して出

発です。山道に入り、まだ10分も歩いていないのに、メンバーの中にはフウフウいっている人もいます。歩く速度にも差が出てきたようですが、皆それぞれに楽しそうに話をしています。先頭を歩いているのは、「さすが立山会長」と思ったら、会長ではなく立山コメットです。立山会長は「まだまだ、息子には負けへんで!」と言わんばかりに一生懸命な様子ですが、やはり体が重いのでしょうか?立山コメットは、上のほうで、清々しい笑顔で私達を待っています。この体力の差!何回か休憩しながら、約1時間程で一行は、やっと頂上へたどり着きました。澄みきった青空の中、京都市内が一望できます。本当に素晴らしい景色!他のハイキングに来ているグループとも話が弾んでいます。さすが、ウエストのパワー!

さて、素晴らしい景色を十分に堪能し次は山科へ向かって、出発です。帰り道も隊長は立山コメットのようです。帰りは、皆、少し早く歩けるようですが、何故か道が違っているみたい?曲がる所を間違えて、滋賀県の方向へ歩いていたのです。早く気付いて良かった!これもハイキングの楽しさ?

そしてまた約1時間ほど歩いて、バーベキュー会場、「山科の家」へ到着しました。安平ワイズ、市橋ワイズ・コメットが準備をしてお出迎えです。本当にありがたいです。皆ビールを片手に料理を楽しんでいます。仕事が終わって駆けつけてきた岩本ワイズも、楽しそうです。

ハイキングで汗を流して、美味しい料理を楽しんで、とても有意義な1日でした。アウトドアの遊ば会、また次回が楽しみですね。

出席者:15名(森田、森田メット、中原、中原メット、立山、立山メット、立山コメット・大西、星野、牧野、岩本、市橋、市橋コメット、桂、安平)



鈴木謙介さんを偲ぶ会に出席して
5月21日(土) 大阪YMCA
メネット 森田 直子

5月21日大阪YMCAで開催されました「鈴木謙介さんを偲ぶ会」に主人と野田メンと共に出席して参りました。

私共夫婦にとっては、30数年の長きにわたってお手本としてきたワイズメンであり、元国際会長・日本区理事を勤められて日本区ワイズダムに大きな足跡と指針を示された、鈴木謙介さんだけに、東京から関西からと多くのワイズメン・メネットが参加され予想外の人数となり、大阪センテナルのメンバーは補助席に座られていました。

スライド上映のあと、各テーブルより代表者一人ひとりが思い出を語り、お茶とクッキーで鈴木メンのお人柄を偲ぶとともに、心からのご冥福をお祈りした次第でした。

次期役員研修会報告
5月21日(土) 今出川YMCA
EMC委員 安平 知史

5月21日(土)次期役員研修会が、次期会長中原 YS をサポートする次期三役、次期各事業委員長で開催されました。司会の河合次期副会長の開会の辞よりスタート。

次期会長、中原 YS の会長挨拶からはじまり今期の西日本区、京都部の活動計画報告を終え、そして我がウエストクラブの次期会長の活動方針の説明が行われました。次期からは会場を変え例会を2回行い、今まで以上に活発で強いクラブにしていこうと熱い思いのこもった説明をされました。

それから事業計画案の検討が、はじまりそれぞれの事業委員会について三役含め各事業委員長から活発な意見が交わされ検討されました。特に今後の環境についての活動の目標や、新しいファンド商品を見つけ活発なファンド事業をしていくという事などが議論されました。

その後、事業予算の検討を次期牧野会計より進められました。

今回の次期役員研修会は活発な意見が非常に飛び交い有意義なものでした。次期の中原会長は、ますますウエストクラブが飛躍するに間違いありません。

メンバーの皆さん！一丸となって次期も盛り上げていきましょう！！

出席者：メン11名・メット1名



環境例会・部長公式訪問報告

5月26日(木) 京都ガーデンパレスホテル
環境委員長 島田 博司

5月26日(木)京都ガーデンパレスホテルにて5月例会が行なわれました。今回の例会は、環境例会ということもあり、環境委員長である私 島田の慣れない司会のもと通常通り7時から始まりました。ゲストとして京都部より公式訪問として部長 渡邊公生ワイズ、Yサ・ユース主査 川上孝司ワイズ、事務局長 廣井武司ワイズをお招きし、京都キャピタルクラブより山口雅也ワイズがメーキャップとしてお越し下さいました。市橋ワイズの食前の一言で食事が始まり、各委員会報告の後、3名のゲストのスピーチが始まりました。今期京都部部長が力をいれられた環境問題についてのお話、楽しいスピーチであつという間に時間が過ぎてしまい、お三人方の流暢なスピーチに聞き入っていたのは私だけではなかったと思います。今期ウエストクラブではCO2TAX運動と今期より始めました環境家計簿運動を前期と後期にわけて進めてまいりました。そこでCO2TAX運動の表彰式です。最優秀クリーン賞が牧野ワイズに、優秀クリーン賞が河合ワイズと、森田ワイズに贈られました。やはり初めということ

で、環境家計簿運動の方は、表彰式にまで至りませんでした。が、続けて行きたいと思います。今回ゲストスピーチをして頂いた京都部の皆様、スピーチに時間が少なく、大変申し訳ありませんでした。是非とももう一度お越し頂き、楽しいお話をして頂きたいと思います。ハッピーバースデー、ハッピーアニバーサリーの方々おめでとございました。

出席者：メン19名、メット1名、コメット1名、ゲスト4名



第16回ウエストワイズ杯ゲートボール大会報告

5月28日(土) 長岡運動公園ゲートボール場
広報委員 寺井 幸生

5月28日(土)午前9時より長岡運動公園ゲートボール場に於いて開催された。

雨となる事の多い大会だが、今回は五月晴れの好天気恵まれ30チーム約200名の参加で、小学生チーム、高校生チーム、社会人チーム、80才代チーム、ウエスト素人チームとバラエティーに溢れた楽しい大会となった。

大会は立山会長の力強い開会挨拶、斉藤乙訓支部会長、坪内正一府会議員(来賓)挨拶、準備体操の後始球式(ウエスト5名全員見事にゲート通過)で開始となった。審判のキビキビとしたジャッジ、ウグイス嬢の良く通る声でのアナウンス、時計係の正確なタイム管理等々、見事なゲートボール協会のチームワークでスムーズに進行した。ウエストもメネットさんを中心にうどんのサービスをを行い150食ほぼ完売し、売上げ金はゲートボール協会に寄付しゲートボール発展に役立てて頂くことにした。ウエストの競技成績は、競技者最高齢92才(元乙訓ゲートボール協会会長)の海野さんに監督して頂き、競技中に大サービスのおまけを度々お受けしましたが残念ながら2戦2敗でした。しかし、初参加のメンバー(特に星野YS)は大いに楽しまれたようです、来年は練習して勝ちたいですね。無事故もなく、午後2時30分競技終了し表彰式を行い解散となる。

この大会も毎年参加チームが少なくなっているようです、今後は小学生、中学生チーム、に声をかけジュニア部の競技も盛り込んだものにしてはどうでしょうか、次期の委員長に提案して報告を終わります。

参加者：立山・立山妹・立山コ・中原・中原妹・野田妹・野田コ・松本・大西・星野・河合・寺井



一年を振り返って
～各三役・事業委員長・メネット会長からの
ひとことメッセージ～

立山会長期も残すところ、あと一ヶ月となりました。そこで、今期の役員の皆様へ、「一年を振り返って」のテーマにて、この一年間の感想・反省・次期への期待、などのメッセージをお寄せいただきました。これらの内容を踏まえ、参考として、次期もまた、より活発なウエストクラブとなるよう、活動を展開して行きましょう！！

副会長

中原 一晃

初めての副会長。これといった仕事も無いようで、あちこちに気をめぐらしていないといけな重責にもかかわらず、十分な働きもしていなかったように思えます。立山会長の右腕として、はたして働いていたのか？右手の1本くらいにしかならなかったのでは？申し訳ないと反省の気持ち一杯です。その一年も後1ヶ月で終わろうとしています。環境フォーラムでの堂々としたコメント、あのIBC合同例会、でかいパイプオルガンの前での挨拶はかっこよかったですよ！立山会長！台湾の部会のような席での日舞も決まりました、益子メネット会長！頼りにならない副会長ですみませんでした。一年間お疲れ様でした。

書記

中村 豊

早いものでまたワイズの年度末を迎えました。立山会長、この一年ご苦労さまでした。期首にも書きましたが、私の会長の時、会長には三役をご苦労願ひ、その借金がこの一年で消えたかな？

改めて振り返って自分は十分に会長を補佐出来たのかと自問してみると、己のワイズに対する熱意の強弱によって、その結果が出てくる事が分かります。ワイズの世界は、善意と奉仕が基本であることから、どんな役職を受け持っても積極的に取り組んでいくか、必要最低限の役で済ませるか。これは各人のサジ加減一つです。こうして振り返ってみる時、ワイズに対する自分の基本的な取り組み方、かかわり方にまだまだ勉強不足のある感が否めません。

ワイズの経験的なこと、技術的なことにしても習得して行こうと言う意欲がない事には身についていきませんが、それよりも行事に対する基本的な考え方や理解度がワイズメンにとっては、一番大切なものである事が再認識させられます。またそれには熱意も大事なものである事が分かります。そんな事から機会があれば、この役に再々々々？挑戦してもいいかなと思う時があります。その点、KワイズやNワイズは鏡となる優等生でした。

こう考えると、今期を終えるにあたり上記の意味でウエストの面々が中瀬ワイズの軌跡・足跡を反芻するのが我々の為であり、彼への供養であろうかと思うのです。

書記

山下 太郎

書記としてはじめて1年を過ごしたわけですがあっという間に終わったように思います。果たして立山会長のお役に立てたのかが今となっては申し訳なかったような気がします。

キックオフ例会では都合で退席し所信表明をすることもなくスタートを切り、最初の三役会では資料無しで会議の

ぞみ、例会案内も結構ぎりぎりになり大変メンバーの皆様にはご迷惑をおかけしました！！それでもどうにか無事に終えることが出来たのも立山会長をはじめ三役の皆様のおかげと感謝申し上げます。（いやに殊勝なことを言うな～と自分でも感心してます）

ただ土日の事業にあまり参加できませんでしたのでまだまだ中途半端な気もしますがこの1年の経験を糧に次年度からもアクティブにがんばっていきたいと考えている次第です。

会計

野々口佳孝

立山期の会計として1年間三役の仕事をして頂きましたが、その大役を何とか無事終えることが出来そうです。当初は経理や帳簿付けも普段慣れない仕事なのでうまくこなせる自信はあまりなかったのですが、ただ出納帳を付けていたのが本音です。しかしクラブ会計をしてみても役割としては大変重要な仕事だと改めて実感しました。1年間メンバーの一人一人からの大切な会費がどのように使われているのかが分かると同時に、決まった目的のためにメンバーが集めた資金を、責任を持っていかに有効に配分するかなどへの方面に関心が広がって行きました。ワイズの活動上重要な仕事させていただいたと思います。

Yサ委員会

委員長 岩本 敬子

今期Yサ委員長をさせていただきありがとうございました。委員の高山ワイズ、辻中主事、中田主事たちに大変助けをいただきました。今期は災害も多く街頭募金に出かける機会も多かった年でした。またチャリティーランは京都YMCA初めての開催でしたし、みやびクラブの軽度発達障害の支援ができた事など、通年の行事以外のことを試みさせていただいたので、充実した1年間を過ごせたと思います。準備に時間をかけて、影で頑張っている人がいることを感じさせていただいた1年でした。皆様にも、参加協力いただき、盛り上げていただいたことに感謝いたします。

地域奉仕委員会

委員長 松本 忠正

地域奉仕とワイズの名をPRする一石二鳥を試みて、たて60cm×よこ30cmの亚克力板を1,000枚、防災標語を書いて、その下にワイズメンズの名を入れた物を町中に貼る、私自身の消防団活動20年のヒントから生まれたものですが、今、南海地震・東南海地震の予知が社会問題化してある背景にはビッタリの企画と思いつき、下京消防署に地域の坂口消防団長の力を借りて交渉したのですが、消防署の考え方の壁を破れず、話が頓挫しています。私にとって諦めきれない企画なので、次期委員長につなぎ、クラブとしてまた京都部としての運動にまで広がればと願っています。勿論私も頑張ります。

環境委員会

委員長 島田 博司

この一年を振り返りまして、環境問題ということは1年や2年での周期で考えるのではなく、長い周期で考え実行に移す事業だと言うことを改めて感じました。中瀬永久環境委員が思い描かれていたリトセンに環境事業のシンボル（風力、太陽光、水力）を打ち立てるという目標を軸に、CO2TAX、環境家計簿を通して環境問題を考えるということを経験し、

もっともっと環境問題を身近なものとしてとらえていける、当たり前のこととして考えられるよう、自分自身も考えていこうと感じました。ウエストから環境問題を他クラブへ発信できなかったことが反省点です。次期環境委員長に期待いたします。

EMC 委員会

委員長 桂 厚子

実際のところ、ずいぶん張り切って引き受けたのを思い起こします。

EMC 委員会の役目は、*新規会員を増やす*クラブメンバー内にいい関係を構築できるようにすることでした。そのために、メンバーに一人ずつ増員ではなく、広く浅く気分よくメンバーの力を借りたいと思い、あそび会を立ち上げ、例会以外の集まりを模索いたしました。たくさんのゲストに来ていただけるように、またメンバーが楽しめるように、いろんなスタイルの会を開催いたしました。それなりの評価は出来たと自負いたします。

来期に実を結ぶ希望もいくつか出来ました。これからも形はともあれ、継続していただければ嬉しいと思います。反省はあります。なによりもメーカーのフォローが出来なかったこと、また名刺が作れなかったこと、次の委員会に引き継ぎます。

ドライバー委員会

委員長 牧野万里子

"ワイズメンとしての活動の基本である例会"

毎月の基本の行事として参加していた例会ですが、今期ドライバー委員長を務めさせていただいたおかげで、クラブで毎月例会を行う事の大切さを実感することができました。例会に出席する度に、メンバーは、改めてワイズメンである事の誇りと、新たなエネルギーを持って帰ることができる。この繰り返しが、クラブを、そして個々を成長させるのではないのでしょうか。

いろいろ考えているうちに、もう今期も終わってしまうのは本当に残念ですが、今後は、また違った視点から例会を楽しむことができると思います。

委員長として、何かと至らない事を支えてくださったメンバーの方々に、心よりお礼申し上げます。

ファンド委員会

委員長 藤居 一彦

期の初めは色々なファンドもしたい・・・と思っておりましたが、ここ最近では色々な事が重なり、全く時間がとれずに、例会もずっと欠席で他のメンバーや出席率に迷惑をかける有様で、申し訳ありませんでした。

他のメンバーが一生懸命に活動されているだけに余計に申し訳ない気持ちです。

お許したもれ・・・来期は・・・ちゃんと出ます！

広報委員会

委員長 野田 泰伸

只今、西日本区広報事業主任の仕事は最終段階で、報告の作成や資料のまとめでんやわんやです。クラブ内での広報として上半期は新聞社へのアピールのお陰で、平安徳義会の夏祭りの様子が京都新聞社会福祉事業団のホームページにアップされました。口コミでは積極的にきっかけ作りをして、「ワイズメンズクラブはご存知ですか？」という切り出しで広報しました。次の段階、例会へ誘うということにつながる

よう続けたいと考えます。ウエストクラブの広報と両立できようと思っておりましたが、なかなか他の事には手をつけられず、今期ももうすぐ終わろうとしています。主任のプレッシャーからまもなく開放されますが、残された任期を精一杯やり遂げようと思います。次期は岩本広報委員長のパワーを期待して、側面からホームページの更新率のアップに力を注ごうと考えております。

交流委員会

委員長 森田 恵三

交流委員長としてクラブにあってつねに願っていること。それは、ワイズメンズクラブが、愛と奉仕を実践する世界的友好団体であることを、メン、メネットが自らの体験行動で実感して理解を深め、世界につながるワイズメン、メネットとしての自覚と誇りをもっていただくことなのです。

そのための効果的な手段は、ブラザークラブとの交流機会に参加していただくことが一番だと確信しています。今回の台北でのIBC合同周年記念行事において、親善大使夫人の大役を勤められた初参加の立山メネットの「3日間の短い旅でしたが、行ってみたいとわからない体験や感動を味わえました」のプリテンでのひと言は、私の思いにぴったりで本当に嬉しいことでした。謝謝！

プリテン委員会

委員長 河合久美子

本年度開始前、プリテンにどんな記事を書いたら良いのか、と悩んでいた折、中瀬康平ワイズに相談したところ、病床にあられるにもかかわらず、原稿を寄せて下さると約束下さり、その後半年にわたる連載として実現し、貴重なお話の数々を承ることができたのでした。今期を振り返り、まずもって中瀬ワイズには心より感謝の一言しかありません。

毎月、何かテーマを持って編集しようと心掛けてはいましたが、執筆者が結果的に偏ってしまったこと、「環境のウエスト」を反映する企画を実現できなかったこと、発行前のチェック体制を確立し機能させることが充分できなかったことが主な反省点です。加えて、創刊号から現在までのプリテンを、紛失しているものはお借りしてコピーし、クラブ資料として整備しようと思いましたが、今期中に完了することが出来なかったことが心残りです。次期には委員長さんの個性溢れる楽しい紙面となるよう期待しています。一年間のご協力誠にありがとうございました。

メネット会

メネット会長 立山 益子

今期は、テニス・スペシャルオリンピックス国際大会・台湾訪問・大文字山ハイキングと数え切れないくらいいっぱい楽しんだ1年でしたが、初冬には悲しく、寂しくなった日もありました。いろんな活動に参加することは、楽しかったけれど、関心を持つことの大切さ、参加することの意義、ひとりで反省したり、考えこんだりそんな日もありました。

それでも、この1年のワイズの活動は私たち夫婦にとって、多忙でしたが貴重な経験をさせて頂きました。今はゆっくり夫婦で振り返ってみる時間はありませんが、何年か先の思い出話のタネになりそうです。ありがとうございました。またメネット会計として色々な面で支えてくださった野々口メネットありがとうございました。